

日本農業新聞に掲載（2018年10月15日） ハウス保温資材『エナジーキーパー』[®]

東京インキの「エナジーキーパー」は、熱を通しにくい素材を厚く重ね、ハウス栽培の保温カーテンのように使う省エネ資材だ。茨城県神栖市で輪菊を生産する高橋幸一さん（58）は、こ

の資材を2015年に導入し、重油の使用量を2割削減した。合わせて、重油代を気にせずに加温ができるようになり、品質向上にもつながったと実感している。

ハウス保温資材 東京インキ



サイドと天井に設置したエナジーキーパーを確認する高橋さん（茨城県神栖市で）

課題の重油代安く 茨城の輪菊農家

し、ハウス約1・7畝で年間160万本の輪菊を生産する。これまでは、年間の重油使用量が120万円ほどに達していた。価格に換算すると1000万円ほどになり、経費の大きな割合を占めていた。

保温資材は13年に初めて導入した。当初は海外製を取り入れていたが、重過ぎるため巻き取りが不均一だった。電動巻き取り機や制御盤が故障したりと課題も多かった。エナジーキーパーは2年後、ハウス2棟

巻き取りもスムーズに

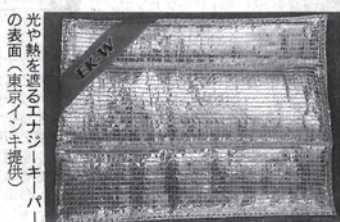
エナジーキーパーのような厚みのある保温資材は「布団資材」と呼ばれる。

ハウスのサイドや天井に設置して使う例が多かったが、国や韓国で先行して普及しているが、国内でも10年ごろからの重油高騰で注目が高まった。国内では当初、海外メーカーのものを輸入していたが、高橋さんは、JAしおさの気温を19度に設定する。以前は1、2月の厳寒期に

出荷遅れず 手取り向上

高橋さんは冬場、ハウスの温度を0・5～1度ほど下は、一晩で2・5リットルの重油を消費していた。「代金は16万円近くになっていた。寒い日が続く場合は、設定温度を0・5～1度ほど下

（計28・5リットル）に設置してコストを抑えてきた。そのため、出荷が1週間遅れたり、花芽の形が崩れたりすることもあったと振り返る。布団資材の導入後には年間の使用量は100リットルまで減少した。これは従来の2割減に当たった。費用の節減が、今年も重油価格は高くなったという。良いものを作り、しっかりと手取りを高めていきたいと考えている。



エナジーキーパー

農研機構・西日本農業研究センターと東京インキなどが共同開発した。アルミや樹脂など数種類の素材を縫った被覆資材。農業用ポリオレフィン（農PO）などに比べて3倍ほどの断熱性がある。ハウスの内側のサイド部や天井部に張ることで、保温性を高める。遮光率が70～100%のタイプがある。野菜や花き、シイタケの生産、サツマイモの貯蔵などさまざまな品目と用途に使える。価格は1平方メートル当たり1600円（税別）。

問い合わせは東京インキの各営業所。本社は、電話03（5902）7627。

エナジーキーパー®

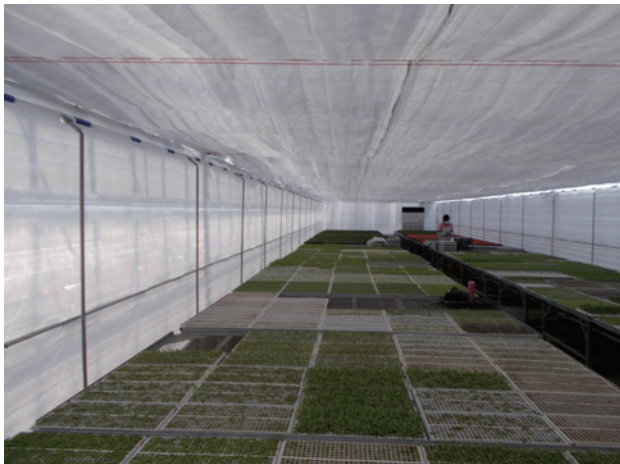
育苗用途で夏季に使用／佐賀県 A 農園

内張りカーテンにエナジーキーパーを利用して、夏季（7月～9月）のプラグ苗（花きなど）の育苗で、ヒートポンプにて夜間15℃に下げる事により、病気の発生を抑制する。（健苗作り）

生産者は、病気の発生を抑制できたことを喜んでいる。

内張りカーテン（片寄せ）は、天井が幅6.3m×長さ31m／1枚張り

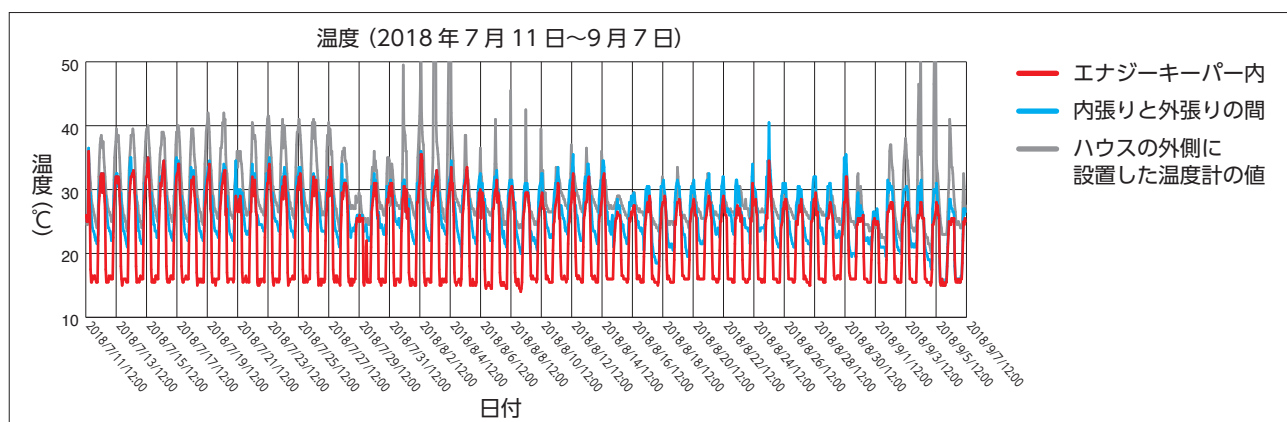
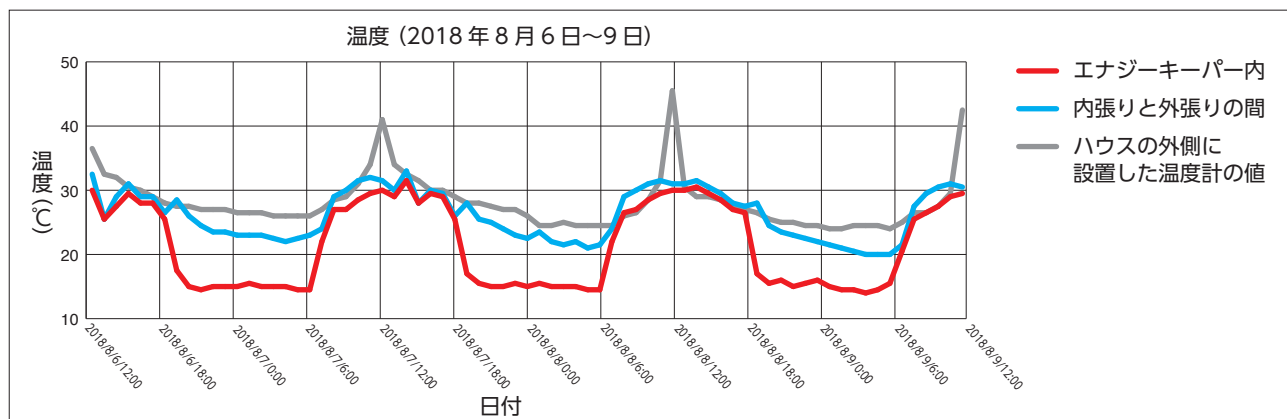
サイドカーテンは、幅2.1m×長さ26m



エナジーキーパー（天井、サイド）が閉まっている状態／夜間



エナジーキーパーを収束した状態（収束性良好）／昼間



東京インキ株式会社
TOKYO PRINTING INK MFG. CO., LTD.
<http://www.tokyoink.co.jp>

本社	〒114-0002 東京都北区王子 1-12-4	TEL.03-5902-7627
札幌営業所	〒065-0020 札幌市東区北二十条東 18-2-1	TEL.011-784-7772
仙台営業所	〒980-0801 仙台市青葉区木町通 2-1-18	TEL.022-274-3531
新潟営業所	〒950-0087 新潟市中央区東大通 1-2-25	TEL.025-245-3141
名古屋支店	〒460-0022 名古屋市中区金山1-12-14	TEL.052-331-1515
大阪支店	〒543-0013 大阪市天王寺区玉造本町 1-28	TEL.06-6761-0077
広島営業所	〒732-0827 広島市南区福荷町 5-18	TEL.082-568-4400
福岡支店	〒816-0912 福岡県大野城市御笠川 3-13-5	TEL.092-503-8979